

社会的共通資本の理論的, 制度的, 歴史的研究

Theoretical, Institutional, and Historical Studies of Social Common Capital

宇澤 弘文 (Uzawa Hirofumi)

同志社大学・研究開発推進機構・教授



研究の概要

社会的共通資本の理論的, 学說的, 制度的, 歴史的, 文化的側面について総合的な研究を行う。

研究分野: 経済学 経済理論

科研費の分科・細目: 271 人文・社会系 (1) 経済体制 計画と市場

キーワード: 社会的共通資本, 持続的経済発展, 教育, 医療, 金融, 地球温暖化

1. 研究開始当初の背景

自然環境, 社会的インフラストラクチャー, そして教育, 医療, 金融, 都市, 農村, 文化資本などの制度資本からなる社会的共通資本に関する経済学的特質を分析するための理論的枠組みの構築が重要な課題であった。

2. 研究の目的

社会的共通資本の主要な構成要素について, 技術的, 経済的, 社会的, 文化的特質を浮き彫りにするような理論モデルを構築し, その制度的, 政策的含意を明らかにする。

3. 研究の方法

- 研究代表者の司会の下に研究分担者, 連携研究者からなる研究会の開催。
- 慶友国際医療フォーラムを毎年定期的に開催。
- 社会的共通資本研究センター調査団をスペイン, ドイツに派遣。
- University of London で International Forum on Kyoto as Social Common Capital の開催。

4. 研究の主な成果

- H. Uzawa: *Economic Analysis of Social Common Capital*, Cambridge University Press
社会的共通資本の主要な構成要素について, 技術的, 経済的, 社会的, 文化的特質を浮き彫りにするような理論モデルを構築し, その制度的, 政策的含意を明らかにするとともに, 社会的共通資本の考え方が, 経済学の歴史のなかでどのように位置づけられてきたかを考察した。
- 宇沢弘文『社会的共通資本と設備投資研究所』日本政策投資銀行設備投資研究所
社会的共通資本の考え方を指針として, 日本経済が直面するさまざまな観点から分析, 考察した。
- 地球温暖化と持続的経済発展
持続的経済発展が炭素税の税率を各国の一人当たりの国民所得に比例させる比例的炭素税の下で実現するという命題を中心に, 京都会議の結論を補強, 補足し, 新しい国際協調への足掛かりを与え, 持続的経済発展の可能性を求めて, 新しい研究を展開した。
- 社会的共通資本として金融制度, 医療, 教育, 農の営み, 川などに関する協同的研究の成果を中心とした論文集. いずれも東大出版会からの刊行を計画中。

〔4. 研究の主な成果（続き）〕

宇沢弘文・間宮陽介編
『社会的共通資本としての教育』

宇沢弘文・間宮陽介編
『社会的共通資本としての医療』

宇沢弘文・大熊 孝 編
『社会的共通資本としての川』

宇沢弘文・花崎正晴・渡辺修士編
『平成大恐慌を考える』

宇沢弘文・橘木俊詔・内山勝久編
『格差社会を考える』

宇沢弘文・細田裕子編
『社会的共通資本とは何か』（全3巻）

5. 得られた成果の世界・日本における位置づけとインパクト

本研究は、社会的共通資本について、技術的、経済的、社会的、文化的特質を浮き彫りにするような理論モデルを構築して、持続可能な経済発展を実現するために、どのような制度的条件なり、政策的選択をすれば、いいのかという問題を比較的平易な分析手法を用いて解決することができた。社会的共通資本の経済学の進展に大きな役割を果たすことを願う。

6. 主な発表論文
（研究代表者は太字、研究分担者は二重下線、連携研究者は一重下線）

H. Uzawa, *Economic Analysis of Social Common Capital*, Cambridge University Press, 406pp, 2005.

宇沢弘文「地球温暖化と持続可能な経済発展」『環境経済・政策研究』, Vol. 1, No. 1, p. 3-14, 2008.

宇沢弘文・細田裕子編『地球温暖化と経済発展—持続可能な成長を考える』東京大学出版会, 310 ページ, 2009 年

H. Uzawa, “Social Common Capital, Imputed Price, and Sustainable Development”, *Macroeconomic Dynamics*, 査読あり, 2009 (accepted for publication).

室田 武『コモンズ研究のフロンティア—山野海川の共的世界』東京大学出版会, 252 ページ, 2008.

岡部明子「サステイナブル・シティという空間資本」『「環境と福祉」の統合—持続可能な福祉社会の実現に向けて』（広井良典編）有斐閣, p.177-195, 2008.

西村 卓「万歳書続実記（一）近代山城地域における一農家記録」『社会科学』同志社大学人文科学研究所, 第 79 号, p.143-181, 2007.

ホームページ等
<http://www1.doshisha.ac.jp/~rc-socap/>